

2021
9月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535 (HPはこちら)
Mail : fukuciku@gmail.com



《中間市双葉保育園・送迎バス置き去り事故》

事故はなぜ起こったのか、行政を追う

7月29日、中間市双葉保育園で園児を送迎バスに置き去りにし、死亡させるといふ事故がありました。福岡地区労連では、事故が起こった背景を追って、日本共産党の田口澄雄中間市議団長にインタビューし、事故の概要と再発防止のために行政に求められることを聞きました。(インタビュー：内田大亮福岡地区労連事務局長)



〈プロフィール：田口澄雄、日本共産党中間市議団長、元中間市職員、現在中間市議4期10年〉

内田事務局長：今回の事故の内容をお聞かせください。
田口市議：事故があった保育園では、送迎バス2コースを2台で運行していました。1台は運転と添乗の保育士2人が乗車し、事故のあった車両は園長1人が運転して添乗員は乗車していませんでした。園児が乗車するときに確認のための乗車カードがありますが、活用が形骸化していたようです。本来、園児が1人登園しなかった場合はなぜ来ないのか問題となりますが、保育士も「休んでいたと

思った」など通常は考えられない、基本的確認が出来ていませんでした。
内田：事故の背景は何が考えられますか。
田口：この園では保育士の退職が多いことから、労働条件も含めて園と保育士間でギクシヤクしていたことが考えられます。園自身の運営で人を預かっている重みを自覚していたのかも問われています。
内田：公的な予算はどのようになっていますか。

保育所の退職者不補充と非正規への置き換えで、公立の民間並み水準化が、図られています。また、現在の福田健司市長になってから合理化、民営化、委託化が出てきました。公営保育園も民間譲渡せよとの意見が出ています。
内田：もう少し詳しく教えてください。
田口：市は施設を減らしていつていきます。市立病院がなくなり、出張所が2つなくなり、公民館やはたらく婦人の家がなくなりまして。また10校ある小学校を2校にせよとい

う案も出されています。公的保育園の遊具施設予算150万円は0円になっています。学校の図書費は1100万円から9万円に落とされています。令和元年と令和2年で市民関係の予算は4億から2億に半減しています。今回の保育所問題は、市の在り方の一角として取り上げた方がいいと思います。住みにくく、市民にやさしくない市政が現在進行の中で起こった問題だと思えます。また、市立病院がなくなるとともありますが、多いときに540人いた正職員が340人に減っています。それによって市が市民と一緒にやってやることの指導などの質が落ちていていると思います。
内田：今後の改善は何かありますか。
田口：解決するためには組合（職員労組）です。全体の奉仕者としての行政の仕事をやさめた職員を増やすことです。憲法上の立場の自覚を長い見識を通じて育ていくかが大事です。市は国の政策に積極的に、職員を減らし、予算を減らし、

悪政のモデルパターンになっているようです。
内田：市政を変える展望はありますか。
田口：今度の総選挙が大事だと思います。新しい政府に変われば自治体や保育行政も影響力が強く、(運営も)

変わります。市議会議員選挙なども大事ですが、国政選挙が大事です。人にやさしい政治にしていかなければいけません。
内田：ありがとうございます。

〈保育士さんに聞く〉 安全安心の 保育園でありたい

福祉保育労福岡支部 坂上夏美



5歳児という小さくて尊い命が奪われ、とても悲しい事故でした。また、人数確認をしていれば、職員同士の声掛けができていれば、朝連絡できていれば…。色々なことを、子どもを預かる保育園として怠っていたのだなということがわかりました。双葉保育園はもう一度保育のあり方、職員同士の共有などきちんと見直すとともに、自分の保育園を見含め全国の保育園で見直す必要があると思いをしました。実際、私の保育園でも毎朝誰が来ていないか確認して、来ていない家庭には担任から電話するようにしていますが、より一層早めに人数を確認し、そのような事故が起こらないようにしています。人と関わる仕事だからこそ、リスクも生じてくると思うので、安全で安心して預けられる保育園でありたいなと思えました。

コロナ禍のなかでの

懇談要請



市に緊急要請する福岡市社保協

福岡市社保協では、7月30日（金）に福岡市への懇談要請を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、参加者を絞った交渉とし、福岡市社保協から松尾事務局長以下4名、市側は関連する課の課長、係長に絞って8名が参加をしました。

毎年「社会保障制度に関するアンケート」を市にお願いしており、今年もアンケート

結果を分析し「社会保障の充実を求める要望書」を3月に提出しました。しかし、コロナの影響で少人数且つ、短時間での懇談にせざるを得なくなり、今回は「緊急要望事項」の一部に限った要請となりました。

まず、滞納者の差し押さえ禁止財産について要請しました。市はここ数年、膨大な数の財産調査を銀行に行っています。とても数名の担当者で処理できる数ではないのですが、年金、給与の差し押さえに関しては、「適切に行っている」と回答。南区で給与を全額差押えられた事例などを出し、「仮に誤って差し

押さえしたときは返還する」との回答を得ました。

生活保護に関する要望では、申請者が不利益にならぬように申請をスムーズに実施すること、生活困窮者のために生活保護制度の広報を強化することを強く要望しました。また、水道料金が払えない場合に支払を猶予する制度の周知を求めました。

懇談の最後に、市民が安心して生活出来るように、市役所の職員を増やすこと、職員への研修を充実させることを求め、懇談を終了しました。

（福建労 福岡東支部 山中）

〔原水禁世界大会〕 圧倒的世論で 核固執の政治から脱却を



博多駅前核廃絶を訴える

核大国がらみ合うなかで、核兵器使用の危険が高まっていると指摘しており、「核兵器国はくりかえし、核兵器廃絶を約束してきた。私たちは、その合意と義務を誠実に果たすことを強く求める。」核兵器禁止条約参加を支持する圧倒的な世論を築き、核固執の政治から脱却するときである。」と声明を出しています。

また、福岡県では8月6日の長崎デーの日に平和の波宣行行動を博多駅で行い、労働組合や民主団体が参加したスタンディング宣伝で核兵器禁止の訴えを市民にアピールしました。

（編集委員 内田）

《学校ウォッチング》 子どもたちの成長に 安心安全の学び舎を



綿貫市議(右)から目野校長(左)へ改善必要個所の報告書を提出

福岡地区労連が加盟する「公共施設を考える会」は、福岡市全区で学校ウォッチング（8月19日～25日）を行いました。

東区の名島小学校では、学校ウォッチングを歓迎していただき、校長先生から校舎内の破損、土砂災害危険箇所があるなど危惧されている場所を聞き、福建労の専門知識を持った組合員が点検を行い

ました。

他の小学校では、側溝に子どもが落ちたのに教育委員会が予算を出さず学校予算で毎年6枚しか蓋が買えない、トイレが和式で臭い、アスベスト含有のスレート屋根がたぐさん残っているなどの状況を確認しました。

子どもたちの成長にとって安心安全の学び舎の実現を求めています。（編集委員 菅）

『あの夏の絵』 公演まであと71日 第二回実行委員会

8月6日（金）に第二回青年劇場『あの夏の絵』福岡市実行委員会がちどりビルにて開催されました。ZOOM併用で行われ参加者は17名でした。

会議では、11/10公演に向けての経過報告

を田中裕事務局長からしていただき情報の共有を行いました。

YouTubeで「あの夏を描く 高校生たちのヒロシマ」という『あの夏の絵』に関するNHKのドキュメント番組が動画配信され

ています。高校生たちが、被爆証言を聞いて苦悩と葛藤しながら絵を描く姿が取り上げられています。ぜひ、動画を見て興味を持たれた方はチケットの購入と呼びかけをお願いします。

実行委員会は、毎月第一金曜日18時からちどりビルで開催しています。どなたでもぜひご参加ください。

（編集委員 松尾）

今後のスケジュール

- 加盟組合代表者会議
オンライン併用
9月24日（金）19:00～
- 実行委員会
ホスト会場
福岡市会議室
- 第32回福岡地区労連
定期大会
10月17日（日）13:30～
- ホスト会場
福建労会館